



平成 21 年 11 月 11 日

各 位

上場会社名 三洋工業株式会社
 代表者 取締役社長 山岸 文男
 (コード番号 5958)
 問合せ先責任者 執行役員財務部長 小宮山 幹生
 (TEL 03-3685-3451)

業績予想の修正等に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 5 月 15 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位：百万円)

平成 22 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正等 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,500	△300	△250	△300	△8.61
今回発表実績(B)	11,856	△744	△711	△788	△22.63
増減額(B-A)	△2,643	△444	△461	△488	
増減率(%)	△18.2	—	—	—	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	14,766	△677	△622	△741	△21.30

平成 22 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	33,000	350	450	300	8.61
今回発表予想(B)	29,500	△400	△350	△550	△15.79
増減額(B-A)	△3,500	△750	△800	△850	
増減率(%)	△10.6	—	—	—	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	33,048	△839	△772	△1,037	△29.78

平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間個別業績予想数値の修正等 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,000	△200	△150	△200	△5.74
今回発表実績(B)	10,161	△611	△550	△662	△19.03
増減額(B-A)	△1,838	△411	△400	△462	
増減率(%)	△15.3	—	—	—	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	12,826	△435	△356	△501	14.40

平成 22 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	27,500	200	300	250	7.18
今回発表予想(B)	24,000	△500	△400	△550	15.79
増減額(B-A)	△3,500	△700	△700	△800	
増減率(%)	△12.7	—	—	—	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	27,525	△686	△578	△1,030	△29.58

修正等の理由

1. 第2四半期累計期間

当第2四半期累計期間の業績予想につきましては、世界的な金融危機を背景とした景気低迷が続き、建築業界においては、建築需要の減少化傾向に歯止めがかからず、厳しい経営環境となりました。当社グループでは売上高の大きな伸長が期待できない状況において、粗利益の確保に注力し、経費削減の施策を講じたものの、受注競争が一段と激化したことから、所期の計画を達成することができませんでした。

このような状況の中で、売上高、営業利益、四半期純利益ともに当初の予想を大幅に下回りました。

2. 通期

通期の見通しにつきましては、企業収益の悪化による設備投資の減少や雇用環境の悪化による個人消費の冷え込みなどにより、建築需要の低迷が続くものと予測されます。

こうした状況においても、主力製品を中心とした活発な営業活動を展開すると同時に、経営コストのより一層の削減を図ってまいります。第2四半期までの業績をカバーできないと見込まれることから、通期の業績予想を修正するものであります。

以 上